



11月30日(火)～12月1日(水), 6年生と修学旅行に行ってきました。

修学旅行で感心したこと①

1日目の夕食時のこと…。夕食会場は、1つのテーブルに2人ずつ座るようになっていました。そこで困っていたのは3人組の女の子たち。1人は少し離れたテーブルに座らなくてははいけません。すると、その中の1人が何のためらいもなく(私の目にはそう映りました)「私、あっちに座るね。」と言ってくれました。

私のこれまでの経験では、こういう場合は大抵ジャンケンが始まります。そして、負けた子が悲しそうな表情で離れていくこともあります。私は、そうならなかったことに感心しました。

修学旅行で感心したこと②

1日目の夕食後のこと…。担任の先生から「部屋に戻るときは、部屋ごとにまとまって戻るように。」と指示がありましたが、1人だけ先に戻ってしまった部屋がありました。私は残されたメンバーと一緒に会場で待っていましたが、待っている間、誰も友達の文句を言う人がいません。逆に、「校長先生、〇〇君はぼくたちと離れた席に座っていたので、間違っただったんだと思います。」と、友達を気遣っていました。

戻ってきた子の態度もすばらしく、何の言い訳もせずに「ごめん! 本当にごめん!」と謝ることができました。私は、「友達の失敗を許せる心」と「自分の失敗を素直に認められる心」に感心しました。

修学旅行で感心したこと③

2日目の朝食時のこと…。朝食のおかずを床に落とした子がいました。すぐに自分のティッシュで落としたものを取り、小さく丸めてテーブルの隅に置きました。ここまではよくある光景です。しかし私は、その子のしぐさがとても丁寧だったので、「あのティッシュはどうするんだろう。」と気になってしまいました。

朝食後、私が少し目を離した間にその子は部屋に戻ってしまいましたが、テーブルの上にはさっきの丸めたティッシュがありません。自分のポケットにしまったのか、ごみ箱に捨てたのかは分かりませんが、私は、その子のマナーの良さに感心しました。

小学校の6年間は、体だけでなく、心も大きく成長します。体と同様に、一人一人成長の速度は違いますが、それでも間違いなく成長します。

体が成長するためには食事や運動、睡眠が必要です。心が成長するためには「見本になる大人」が必要です。見本になる大人が多いほど、子どもたちの心は大きく成長します。

6年生の子どもたちのように体も心も大きく成長できるよう、これからも保護者の皆さんと手を取り合っていけたら…と強く感じた修学旅行でした。